



## 史上最年少 13 歳の中学生チャンピオン誕生!!

大会最少スコアの 9 アンダーを記録

## 勝みなみ (鹿児島高牧) が初優勝



大会記録を更新して初優勝した勝みなみ選手

大会最終日は 24 日、福岡県宮若市のザ・クラシックゴルフ倶楽部 (6258 ㎡、パー72) で最終決勝ラウンドが行われ、単独首位でスタートした鹿児島・長田中 2 年の勝みなみ (鹿児島高牧) がこの日も 2 つスコアを伸ばし、通算 9 アンダー、135 で初優勝した。

勝は 13 歳 10 カ月で、2007 年澤田沙都子 (当時、琉大付中 3 年) の 14 歳 4 カ月の記録を塗り替える最年少優勝。また、優勝スコアも昨年大会で城間絵梨 (福岡レイクサイド、福岡・沖学園高出) が出した 6 アンダーを 3 打更新する最少優勝ストロークだった。

勝はスタートの 1 番でバーディーを奪って幸先よいスタート。前半 3 バーディー、1 ボギーで折り返した後の後半も 1 バーディー、1 ボギーとまとめ、逃げ切った。

4 打差、通算 139 の 2 位はこの日パープレーの城間で、さらに 1 打差、140 の 3 位は JGA (日本ゴルフ協会) ナショナルチームメンバーの熊本国府高 3 年、大城美南海 (くまもと城南)。4 位タイには、いずれもこの日 2 アンダーで回ったナショナルメンバー、宮崎・日章学園高 2 年、柏原明日架 (宮崎大淀) と、福岡・沖学園高 2 年、種子田香夏 (若宮) の 2 人が入った。

このほかのナショナル組は福岡・沖学園高 2 年、佐伯珠音 (ミッションバレー) と宮崎日大高 2 年の永峰咲希 (宮崎大淀) がともに 8 位タイ、宮崎・日章学園高 1 年、山内日菜子 (宮崎) が 16 位タイだった。



年齢別 A 優勝の富高万智子

また、年齢別競技ではA組（30～49歳）で富高万智子（大分）、B組（50歳以上）は真弓京子（グリーンランドリゾート）が優勝した。

この試合の結果、通算6オーバー、26位タイまでの25人と31位タイの中からマッチングスコアカード方式で選ばれた2人の計27人が第54回日本女子アマチュア選手権（6月19～23日、愛知CC）への出場権を得た。また、別枠でナショナルチームメンバーの5人も同選手権のシード権を持っている。



年齢別 B 優勝の真弓京子



突っ走った“根性娘、

## 勝みなみ、キャリア5年で頂点へ

並みいるお姉さんたちを制して弱冠13歳の少女とも言うべき中学2年生が、九州女子アマチュアのチャンピオンになった。鹿児島・長田中の勝みなみ。優勝トロフィーを掲げて報道陣の写真撮影に応じた後、そのトロフィーに刻まれた名前を見て、「自分はすごい大会で優勝したんだな、と思います」とやや緊張した表情を見せた。

刻まれた歴代優勝者は不動裕理、大山志保、馬場ゆかり、青山加織、笠りつ子…と現在の女子プロトーナメントで活躍する名前が並ぶ。そして、6年生で出場した九州女子選手権の時は、周りの選手を見て「自分はこんなすごいレベルに行けるのだろうか、と思った」と言うが、3度目の出場ですべて文字通り、実力で奪い取ったタイトルだった。

初日7アンダーの65をマークして後続に2打差をつけての最終日。2位タイには前年優勝の城間と、JGAのナショナルチームメンバーの大城美南海。「2打差なんてすぐに追いつかれる数字。ゴルフは何が起こるか分からないし」と勝で、事実、「前半の何ホールかは体が動かなくて、ああ、緊張しているんだな、と自分でも思った」と振り返る。

スタートの1番（487ヤード、パー5）でいきなりバーディー。機先を制するという意味でも相手にとっては嫌なバーディーだったろう。だが、勝にはそこまで計算したものではなく、自分のゴルフに徹した結果だったにすぎないものだった。前半4打差をつけての後半。それでも「まだまだ」で、優勝への手ごたえは、18番の第2打を打って歩いているときにやっと「勝ったかな、と思った」という。

終わってみれば、スコアを伸ばし、2位に4打差つけての堂々たる勝利だった。

8歳からゴルフを始め、まだ5年。それが、中1の昨年は九州女子選手権11位タイのあと、九州ジュニアで優



勝みなみは5番でバーディーを奪い、小さくガッツポーズを見せた

勝って出場した日本ジュニアで3位。今年4月の女子プロツアー「西陣レディース」で史上4番目の若さで予選を通過してベストアマにもなり、一躍注目された。

ゴルフは祖父の龍作さん(72)に手ほどきを受けており、勝の師匠。毎日の練習、週末のラウンドと祖父が育てたゴルファーでもある。ただ、両親は教師。勉強時間の確保もある。1日1時間半、200球以下限定と自ら練習を制限する。「(練習に付き合ってくれる)じいちゃんに早くご飯を食べさせないといけないし」と笑う。

この後の日本女子アマ。「九州チャンピオンとしてプレッシャーあるけど、悔いのないように」と抱負。大会3日前の体育の授業で左手人差し指を痛めながらも、けろっとしてラウンドした勝である。その根性に期待したいものだ。(Kiku)



## 「悔しいラウンドだが、収穫も」

### 連覇を逸した城間絵梨

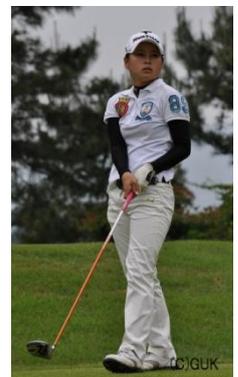
○…「アンダーを出すにはやはりフェアウエーキープでないと…。今日は曲がった」。疲れた表情を見せた前回覇者の城間だった。

「今日は悔しいラウンドになった」。もちろん、逆転優勝を目指したが、最終組で回る中学生を走らせてしまった。その悔しさは、自分に対してのもので、勝の印象については、「思いっきりの子。メンタルが強い子だなあと思った」と言う。

現在プロテストを受験中で、アマでは最後の九州女子選手権。「(優勝はできなかったが)自分のプレーには集中できたし、結構、我慢できるようになった。それが収穫かな」と前向きな発言で締めくくってくれた。

2位の城間絵梨

3位大城美南海



### 選手の一言

○…追撃かなわず首位に5打差の3位に終わった大城美南海 出だし、滑り出しが課題だった。中学生が相手と言うより、自分のプレーができなかった。日本女子アマではベスト4を目標に戦ってきます。

○…15~17番3連続バーディーで上がりよし。4位タイに食い込んで面目の柏原明日架

(ボギーが先行するも)いつもならマイナスの気持ちが出るのに、今日は出なかった。このピン位置では伸ばせないな、とノーボギーが目標だったけど…。ボギーのあと取り戻せて、メンタル的には成長できたと思う。優勝はできなかったけど、今後につながる試合だった。

○…学校(福岡インターナショナルスクールへ)が変わり心機一転の秋山真凜は7オーバーで31位タイ 2日間でバーディーが3つ。グリーンが硬く、ピン位置も難しかった。アイアンの精度を磨き、パターが楽に打てるようにならないと…。

○…福岡・長住小6年、後藤未有(大博多)は13オーバーで59位タイ (2日間でバーディー1個)今日はバーディーを5個ぐらい取って、75以下で回りがかった。けど、予選を通過できたからよかったです。

## 初日トップは鹿児島・長田中 2 年の勝みなみ (鹿児島高牧) 2 打差で前回覇者の城間絵梨 (福岡レイクサイド) と ナショナルチームメンバーの大城美南海 (熊本国府高 3 年)



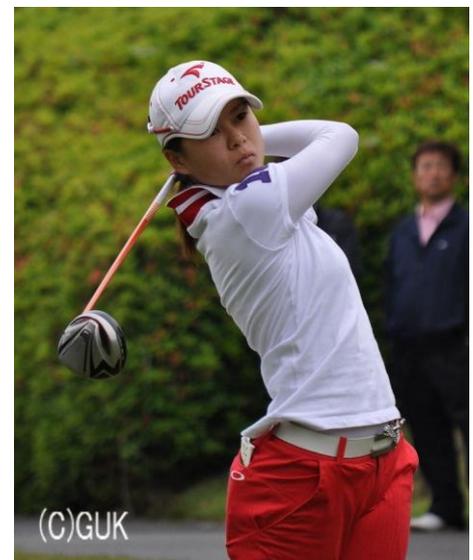
7 アンダーで単独首位発進の  
勝みなみ

第 1 ラウンド・予選が 23 日、福岡県宮若市のザ・クラシックゴルフ倶楽部 (6258 坪、パー 72) で行われ、ボギーなしの 7 アンダー、65 で回った 13 歳、鹿児島・長田中 2 年、勝みなみ (鹿児島高牧) が単独トップに立った。

勝は前年九州ジュニア女子 12~14 歳の部優勝者。出だしの 1 番 (パー 5) バーディーで幸先良いスタートを切ると、このあとも 5、6 番、さらには後半 4 バーディーと重ねてホールアウトした。

2 打差、67 の 2 位タイに大会連覇を目指す城間絵梨 (福岡レイクサイド、福岡・沖学園高出) と JGA ナショナルチームメンバーで熊本国府高 3 年、17 歳、大城美南海 (くまもと城南) の 2 人。さらに 3 打差、70 の 4 位に 18 歳の山城奈々 (沖縄国際、沖縄・浦添高出) がつけた。

今大会には 10 歳の小学 5 年生から 68 歳のシニアまで大会史上最多の 225 人 (うち欠場 6 人、棄権 1 人) がエントリー。このうち 18 歳以下のジュニア (小、中、高校生) は 105 人。



2 打差 2 位タイの  
大城美南海

例年通り、ジュニア勢と高校を卒業したばかりの若手が絡む優勝争いになったが、スコア争いもし烈で、初日アンダーパーを記録したのは過去最多の 9 人だった。

ナショナルチームメンバーは大城を含め 5 人が出場したが、大城のほかは柏原明日架 (宮崎・日章学園高 2 年、宮崎大淀) が 5 位タイ、山内日菜子 (同 1 年、宮崎レイクサイド) が 10 位タイとやや出遅れた。

コンディションは曇り、気温 22 度、南南東の風 1 m (午後 1 時現在)。

この試合の結果、8 オーバー、80、95 位タイまでの 104 人が最終日 24 日の決勝ラウンドに進出。小学生は大会最年少の大分・西の台小 5 年、園田結莉亜 (大分) は予選落ちしたものの、昨年の九州小学生大会優勝の 11 歳、熊本・清水小 6 年の鬼塚貴理 (熊本空港) と丸山祐香 (玉名)、後藤未有 (大博多) の 3 人が決勝ラウンドに進出した。

最終日は午前 7 時半、アウト、イン同時にティーオフ。



## 最終日は勝と大城の "みなみ対決"

### プロ目指す城間絵梨は逆転V 2 に意欲

平成 10 年（1998 年）生まれの活きのいい若手が飛び出した。勝みなみ（鹿児島高牧）。中 1 の昨年の九州ジュニア選手権女子 12～14 歳の部で初優勝。そして、今年 4 月の女子プロツアーの西陣レディースでは、見事予選通過し、通算 2 オーバーのスコアで 25 位タイ（ベストアマ）になり、一躍注目された。

その勝が並みいる先輩を差し置いての単独トップ。それも、ノーボギーでのラウンドというところがすごい。ホールアウト後、報道陣に囲まれた勝は「会心。納得いくプレーでした」と顔をくしゃくしゃにした。

ラウンドを振り返って、「今日は運も良かったけど、パターも良かった」と言う。2 か月前にピンタイプのパターに替えたが、「2～3m が確実に決まった」。加えて、アプローチでも「ショートアイアンが大きくグリーンを外さなかった」と満足そうな表情を見せた。

プロのトーナメントに出場して得たところが大きかったようだ。「アプローチやパターが苦手だったけど、教えられたのは、練習したものの勝ちということでした」と勝。予・復習など学校の勉強もあり「練習は一日 200 球以内と自分に課している」というが、それだけ集中した練習ができていたようだ。

さて、最終日。「取れたらラッキー」と欲のないことを言うが、仮にこのまま逃げ切れれば、13 歳 10 カ月での優勝。九州女子選手権史上、最年少女王が誕生することになる。

対する、もう一人の「みなみ」。「練習ラウンドから調子は良かったから、行けるかな、と思っていた」とコースとの相性の良さに笑顔。

昨年苦労したパッシングは徐々に調子を取り戻していると言い、「滑り出しさえボギーを打たないように気を付ければ、バーディーも来るコース」。相手が中学生だから、という意識はなく、「自分の目標と課題でのゴルフをするだけ」ともいい、「2 打差、は「圏内」と最終日はチャージをかけるつもりだ。

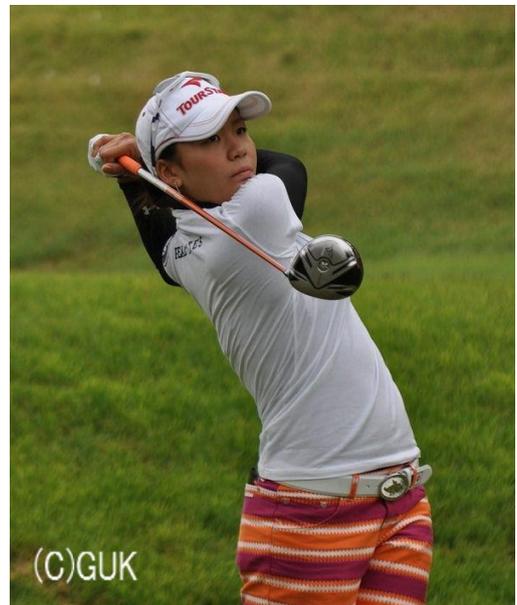
「みなみ対決」はどちらに軍配が上がるか―。 (Kiku)

## 「全ての経験はプロへの道の糧」と城間

〇…6バーディー、1ボギーの 67 で 2 位タイ発進。「ショットがぶれていたし、どうなるかと思ったけど」と本人が言うように、上がってみれば 5 アンダーと追尾にはもってこいの位置。

インスタートで前半は 2 バーディー、1 ボギー。「ボギーを打たないように、外しても後が楽な方にと考えてショットが打てた」。前半の我慢のゴルフが、後半の 4 バーディーとつながり、「納得のゴルフだった」と言わしめるフィニッシュになった。

今春、福岡・沖学園高を卒業。現在、女子プロテストを受験中で、2 次までトップ。「今年の最大の目標は（試合出場資格を得る）QT」と言い、この試合と日本女子アマ選手権がアマチュア最後の試合になる。「攻守のゲームの組み立て、緊張感など試合でない」と味わえない。城間にとって、九州女子選手権はプロへの道のあくまでも「道程」だが、「自分のゴルフができれば」とも言い、もちろん連覇に意欲を見せる。



逆転Vを目指す  
城間絵梨



○…1アンダーで5位タイ発進の柏原明日架（宮崎・日章学園高2年、宮崎大淀） 今日にはティーショットが曲がっちゃって、パッティングに助けられた。明日は自分のゴルフができれば3つぐらい伸ばせると思う。たとえ（ショットが）曲がっても悪いゴルフはしたくない。

○…3バディー、3ボギーの72で10位タイのナショナルメンバー、宮崎・日章学園高1年、山内日菜子（宮崎レイクサイド） 2アンダーからパープレーと目標を設定していた。先輩が頑張っているし、私もトータルでアンダーの5位以内を目指します。

○…2オーバーの74で27位タイの福岡インターナショナルスクール高等部1年、秋山真凜（志摩シーサイド） グリーンが硬かったし、距離勘が…。アプローチミスしたり、全体的にかみ合わなかった。明日はとりあえずイーブンに戻します。（高校進学後も、ゴルフをやる上での）気持ちの持ちようは変わっていません。

○…1バーディー、7ボギーの6オーバーで73位タイ、小学6年、鬼塚貴理（熊本空港） 前半はパターの距離勘が合わなかったし、全体的にショット、パットも今イチでした。夏の小学生大会ではアンダーパーで連続優勝を目指します。

○…最年少出場の大分・西の台小5年、園田結莉亜（大分）は予選落ち（86のスコアに）距離が長いし、きつかった。けど、最後の9番ホールでバーディーも取れました（と、ニコニコ）。



予選を通過した  
鬼塚貴理



大会最年少 10 歳から 68 歳まで、最多の 225 人が参戦

## 九州女王の座を巡る戦い、あす開幕

ザ・クラシックゴルフ倶楽部 (福岡・宮若市) で



女子アマチュアの九州ナンバー 1 を決める「第 42 回九州女子選手権競技」は 23、24 日の 2 日間、福岡県宮若市のザ・クラシックゴルフ倶楽部 (6258 坪、パー 72) で行われる。

出場選手は加盟倶楽部会員で JGA 女子ハンディキャップ 16.4 までの選手、九州学生連盟、九州高校連盟の推薦各 3 人で、今年は史上最多の 225 選手がエントリーした。とくに、九州出身の女子プロの活躍などもあってキッズからジュニア世代のゴルフ人気は高く、今大会には 18 歳以下が全体の半数近い 105 人出場予定。最年少は大分・西の台小 5 年、園田結莉亜 (大分) で、2008 年大会に参加した秋山真凜 (志摩シーサイド) の 11 歳 7 カ月 (当時小学 6 年) を更新する 10 歳 10 カ月という史上最年少での参戦。また、今大会にはこのほか 5 人の小学 6 年生も出場する。最高齢は 68 歳と幅広い女子プレーヤーとなっている。

優勝争いは今年も、ジュニア中心の展開が予想されている。なかでも、日本ゴルフ協会 (JGA) のナショナルチーム入りしている 5 人全員が顔をそろえた。大城美南海 (熊本国府高 3 年、くまもと城南)、永峰咲希 (宮崎日大高 2 年、宮崎大淀)、佐伯珠音 (福岡・沖学園高 2 年、ミッションバレー)、柏原明日架 (宮崎・日章学園高 2 年、宮崎大淀)、山内日菜子 (同 1 年、宮崎レイクサイド)。

順当なら、この 5 人が選手権をリードしそうだが、前年覇者で今年プロテストに挑んでいる城間絵梨 (福岡・沖学園高出、福岡レイクサイド) がアマ最後の「九州女子選手権」をどう戦うかも見もの。これに、前回 5 位の荒井舞 (専大 3 年、ミッションバレー)、同 6 位の田口晴菜 (熊本・東海大二高出、熊本空港) らの「若手」に、堀亜梨紗 (熊本国府高 3 年、熊本空港)、新海美優 (大分高 2 年、大分中央)、今年高校 (福岡インターナショナルスクール) 1 年になった秋山らの高校生、さらには昨年の九州ジュニア優勝の勝みなみ (鹿児島・長田中 2 年、鹿児島高牧) がどこまで食い込んでくるか、楽しみな存在だ。

シード選手を含む上位 27 人 (ナショナルチームメンバーを除く) には第 54 回日本女子アマチュア選手権 (6 月 19～23 日・愛知 CC) への出場権が与えられ、第 17 回日本女子ミッドアマ (11 月 12～13 日・小金井 CC) は当該選手の上位 10 人 (シード含む) に出場権。

会場のザ・クラシック GC は 1990 年 (平成 2 年) 開場。福岡県北部の宮若市にある丘陵コース。インは 9 ホールのうち 5 ホールで池が絡む変化に富んでいる。過去、日本女子プロ選手権や、九州オープン選手権、九州ミッド・グランドシニア選手権などの公式競技も開催されている。

競技は午前 6 時 50 分、アウト、イン同時にティーオフ。